

津地域高茶屋地区 地震防災マップ

01-19

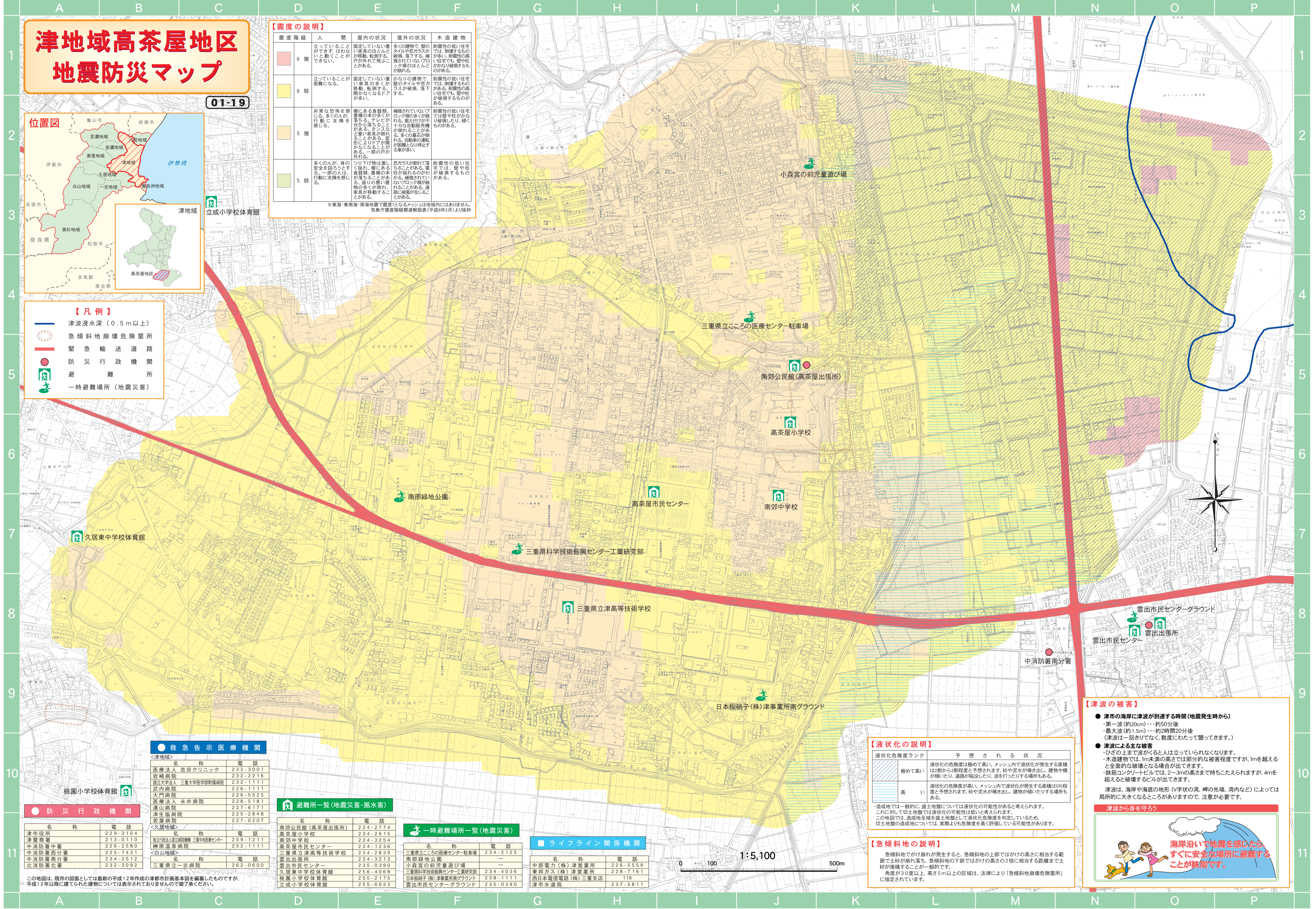


- 【凡例】
- 津波浸水深 (0.5 m以上)
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 緊急輸送道路
 - 防災行政機関
 - 避難所
 - 一時避難場所 (地震災害)

【震度の説明】

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
6強	立っていることができない。はたがは倒れる。	固定していない家具のほとんどが倒れる。壁紙が剥がれ、天井が落ちて降ぶことがある。	多くの建物で、窓のガラスが破損、落下する。電柱が倒れる。電線が断れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の多くが倒れる。壁紙が剥がれ、天井が落ちて降ぶことがある。	かなりの建物で、窓のガラスが破損、落下する。電柱が倒れる。電線が断れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	固定していない家具の多くが倒れる。壁紙が剥がれ、天井が落ちて降ぶことがある。	多くの建物で、窓のガラスが破損、落下する。電柱が倒れる。電線が断れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5弱	多くの人が身の安全を確保しようと、一部の人は行動に支障を感じる。	固定していない家具の多くが倒れる。壁紙が剥がれ、天井が落ちて降ぶことがある。	多くの建物で、窓のガラスが破損、落下する。電柱が倒れる。電線が断れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

※東海・東南海・南海地震で震度7となるメッシュは地域内にはありません。気象庁震度階級震害速報表(平成24年)より引用



● 救急告示医療機関

名称	名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001	
岩崎病院	232-2216	
国立大学入国こころのこころセンター	232-1111	
武内病院	226-1111	
大門病院	226-5525	
医療法人 永井病院	228-5181	
津山病院	227-6171	
津生監病院	225-2848	
若葉病院	227-0207	

● 防災行政機関

名称	電話
津市役所	226-3104
津警察署	213-0110
中消防署中署	226-2580
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
北消防署北署	232-3092

● 避難所一覧(地震災害・風水害)

名称	電話
南郊公民館(高茶屋出張所)	234-2774
高茶屋小学校	234-2615
南郊中学校	234-3254
高茶屋市民センター	234-1236
三重県立津高等技術学校	234-2839
雲出公民館	234-3213
雲出市民センター	235-0390
久居東中学校体育館	256-4068
桃園小学校体育館	255-2175
立成小学校体育館	256-6023

● 一時避難場所一覧(地震災害)

名称	電話
三重県立津高等技術学校 駐車場	234-2125
南郊緑地公園	-
小森宮の前児童遊び場	-
三重県科学技術振興センター工業研究部	234-4036
日本板硝子(株)津事業所南グラウンド	238-1111
雲出市民センターグラウンド	235-0390

● ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	226-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	116
津市水道局	237-5811

【液状化の説明】

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は2割から3割程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没したり、道を打ったりする場所もある。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は5%程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物が傾いたりする場所もある。

・造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して切土地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地図では、造成地全域を盛土地盤として液状化危険度を判定しているため、切土地盤の造成地については、実際の危険度を正確に評価している可能性が低いです。

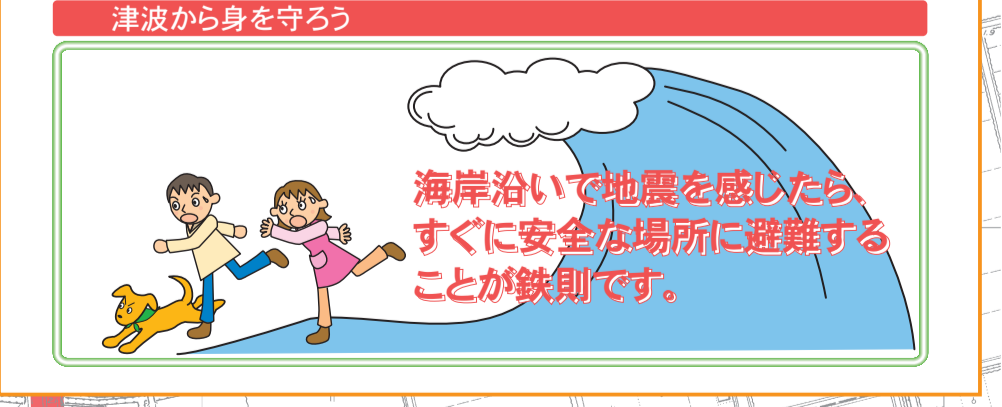
【急傾斜地の説明】

急傾斜地が崩壊が発生すると、急傾斜地の上部では崩れの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部では崩れの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的で、角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

【津波の被害】

- 津市の海岸に津波が到達する時間(地震発生時から)
 - ・第一波(約20cm)・・・約50分後
 - ・最大波(約1.5m)・・・約2時間20分後(津波は一回きりでなく、数度にわたって襲ってきます。)
- 津波による主な被害
 - ・ひざの上まで波がくると人は立っていられなくなります。
 - ・木造建物では、1m未満の高さでは部分的な被害程度ですが、1mを超えるような全面的な破壊となる場合が出てきます。
 - ・鉄筋コンクリートビルでは、2-3mの高さまで持ちこたえられますが、4mを超えると破壊する恐れがあります。

津波は、海岸や海底の地形(V字状の溝、岬の先端、湾内など)によっては局所的に大きくなることがありますので、注意が必要です。



この地図は、既存の図面として最新の平成12年作成の津都市計画基本図を基に編纂したもので、平成12年以降に建てられた建物については表示されておらず、ご了承ください。